

放送番組審議会会議録

| | | | |
|--------------|--|--------------------|----|
| 会議名称 | 第1回大滝ケーブルテレビ放送番組審議会 | | |
| 議 題 | 大滝ケーブルテレビ施設設備の変更について | | |
| 開催日時 | 平成25年11月25日（月） 午後4時00分～午後4時45分 | | |
| 場 所 | 伊達市役所 大滝総合支所 2階大会議室 | | |
| 出席者 | 出席者8名 | | |
| | 所管部課名 | 大滝総合支所 地域振興課 地域住民係 | |
| 公開 の 別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 | 傍聴者の人数 | 0人 |
| | <input type="checkbox"/> 非公開 | 非公開の理由 | |

【会議の概要】

1. 開 会

開会に先立ち、平成25年4月1日付で2名の委員に異動がありましたのでご報告させていただきます。

大滝中学校穂山教頭から能登教頭に、とうや湖農協大滝支所の齋藤支所長から下国支所長にそれぞれ変更となっております。

本日は、欠席1名の連絡がございましたので、出席者8名、委員の過半数を超えておりますので、大滝ケーブルテレビ放送番組審議会規則第6条第2項の規定により会議が成立していることをご報告いたします。

2. 市長あいさつ

皆様、本日はご苦勞様でございます。

大滝ケーブルテレビが開局して9年が経ちますが、合併協議をしていた当時の渡邊村長から難視聴対策でこういう事業をやりたいということで相談を受けて、合併するかもしれないということになって事前にいろいろ話し合いをしました。当時はアナログの時代でありましたので難視聴対策ということ。そして一番覚えておりますのが、NHKローカルが大滝では札幌ローカルしか入らない、室蘭ローカルが入らないというのが非常に印象深く残っております。また、昨年11月に大停電がございまして、その際に登別・室蘭が大停電となっておりますけれども、FMびゅーという地元のラジオが常時、情報を流しており、市民から大変好評を得たということでありました。それで、1市3町で有珠山防災協議会というのをつくっているんですけども、災害対策としてラジオを考えていかなければいけなく、ケーブルテレビは基本的に電気がなければ出来ませんし、自宅で見るとは問題ないですが、移動性がない。それで来年度から1市3町でネットワークをつくらうということで、室蘭のFMびゅーと提携をして、1年単位なんですけど消防も入って1市3町でやることとなります。この特徴は割込み放送ができるということ、もし災害があった時に、消防署でも支所でもいいですし、また行政から割込みで放送出来るという仕組みです。そうすると何があってもすぐに連絡が取れるという体制が取れます。これは非常時の関係ではありますが、電波というのは非常に重要な役割を持っておりますので、皆様方もこのケーブルテレビに限らず全体な考え方を含めて審議していた

だきたいと思いますし、今回は施設設備の変更ということでご検討いただきたい。
また、貴重な時間をいただいたことに御礼を申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。宜しくお願い致します。

3. 会長・副会長の選任

別紙名簿のとおり委員紹介

事務局：それでは会長、副会長の任期が満了となっておりますので、市長を仮議長として、会長及び副会長の選任を行います。

市長：会長及び副会長につきましては、大滝ケーブルテレビ放送番組審議会規則第5条第2項の規定によりまして委員の互選ということになっております。立候補でも推薦でもかまいません。

委員：会長に本田委員、副会長に元谷委員をお願いしたいと思います。

市長：他にありませんか。

委員：なし

市長：他に無いようなので、会長に本田委員、副会長に元谷委員ということですがよろしいでしょうか。

委員：異議なし

市長：異議なしとのことですので、会長に本田委員、副会長に元谷委員と決定させていただきます。

それでは会長が決定いたしましたので、議長を交代したいと思います。

宜しくお願い致します。

事務局：それでは、会長が決定いたしましたので、市長より会長へ諮問を行います。

市長：諮問（別添のとおり）

4. 会長あいさつ

諸先輩のいる中、会長に選任されましたので、誠に僭越ではございますが、ケーブルテレビは大滝区にとっては非常に大事な事業なので皆様のご協力をお願いいたします。宜しくお願い致します。

※市長は他公務のため退席。

5. 署名人の選任

審議に先立ち、会議録署名人に桂川委員、能登委員を指名

6. 協議

会長：本日の会議は、只今諮問を受けました大滝ケーブルテレビ施設設備の変更についてであります。

ケーブルテレビが開局してから10年目にあたり、耐用年数の過ぎている設備、機器等の老朽化が進んだことから設備の変更の見直しについて諮問を受けたものであります。

本件は区民の生活に大きな影響がある事案でもあり、慎重かつ丁寧な審議が求められるものでありますので、本日は、変更に当たっての市の考え方等を十分に理解することに努めたいと考えております。

- ・諮問第1号 大滝ケーブルテレビ施設設備の変更について
事務局より説明（別紙のとおり）

○質疑応答

委員：BS衛星用アンテナを整備するとありますが、どういうことですか。

事務局：STBを外しますと、衛星放送が見れなくなりますので、貸与ではなく各家庭にアンテナを市で設置し対応する。STBの代わりとなるということです。1回のみですが、基準日などを設定して対応する。当然、契約していることが条件となる。

会長：今はほとんどの方が、デジタルテレビを持っていますのでSTBがなくてもテレビを見る事ができますが、資料にあるとおり約20パーセントのアナログテレビ世帯にチューナーで対応するという事なので、不利益にはならないのかと思う。

委員：平成25年度の経費が多いのは、何にかかったのか。

事務局：今年度は、インターネット設備サーバーの更新工事費として2千800万円を計上しています。工期は1月末までとなっています。

委員：市長に聞いたかったのですが、アンケート調査の結果を見て、市長がどう考えているのかということをお聞きしたかったのですが、自主制作番組の視聴率が13.8パーセント、満足度19.2パーセントとなっているが、これだけの経費をかけて、これだけの人が見ていないというのは税金の無駄遣いにも思えるのですが。

支所長：市長が帰ってしまったので市長の代わりになるかわかりませんが、自主制作番組については、議会なんかでも話題になっているんですが、きっと開局した当初は大滝のローカル番組という形で結構視聴率も高かったんだろうと思います。しかし、正直なところを言うとマンネリ化してきたり、工夫が足りなくなってきたかなというところは感じております。

続けていくのであれば、もう少し多面的な目でこの自主制作番組を検討していかなければならない時期なんだと思います。見ていただいている方々に昔の再放送を流すのもいいんでしょうけども、せっかく続けていっている自主制作番組ですのもう少し興味を持っていただけるものを探しながら、有効活用していきたいと考えている。

市長も、全体経費を占める割合が少なくはないので、同じ経費をかけるにしても見てる方々に喜んでもらえる、楽しいだけではなく活用していただけるような番組を作っていけないかなと思っている。

すぐに、明日から、明後日からというわけにはいかないが、もう少し工夫をしていきたいなと考えています。

先日、確か長野県のケーブルテレビだったと思いますけど一般のテレビ番組より、自主制作番組の方が視聴率が高いとテレビでやってまして、何を放送しているのかと思ったら天気予報と香港、上海、東京の青果の取引価格を放送している。その上川村のレタス生産量が日本一で、ブランド品を作っており、国内だけでなく、海外にも出荷しており、視聴者が気になる青果の相場を自主制作番組として放送しているのをテレビで観たんですが、それがそのまま大滝のケーブルテレビに当てはまるとは思いませんが、この地域の産業を含めて皆さんに関心を持ってもらえるように、そのためにも流した方がいいと思います。

委員：放送時間が朝5時30分から夜の1時00分まで放送しているがそんなに長く放送する必要があるのか。

時間を決めて放送してみたり、ただ放送してても仕方がないのではないか。

会長：自主製作番組については、今後も行っていくのか

支所長：制作していく予定です。

委員：IP電話なんですけど、インターネット回線を利用しているものなんですか。

事務局：インターネット回線というか、幹線の災害復旧のシステムで、インターネット回線とはまた別です。

支所長：今、パソコンでテレビ電話ができるのはインターネット回線ですので、それは使えると思います。今は、ケーブルテレビのインターネットに加入しなくてもターミナルアダプタがあるのでIP電話が使えます。

委員：インターネット上では雑音が入らないのではないか。

支所長：IP電話は一回有線を通してしまうので、パソコンなどで音声処理をしてからなので、どうしてもずれたような会話になる。それに関してはターミナルアダプタの有無にかかわらず変わらないと思います。

支所長：皆さんの方から他にご質問等が無いようなので、私の方から、災害時の緊急告知放送について簡単にご説明いたします。

現在、緊急告知放送は各家庭にモデムみたいなものがついていると思いますが、あれは非常事態があった時に、こちら側から強制的に災害等の発生をお知らせできるシステムである。

先程、市長からも話がありましたが、このシステムは屋内にいないと聞こえないというものです。

電源が切られていけば流れませんが、それ以外であればこちらから強制的にスイッチが入りますので、聞こえないことはないんですが、機械の周りにいないとわからない、屋外いけば特に聞こえないというのが実態です。

まだ確定ではないんですが、有珠山麓コミュニティネットワークの電界調査、いわゆる電波がどこまで届くのかという調査を行っています。

今、ウィンザーホテルの屋上から電波を出して、豊浦、洞爺湖町、壮瞥町、伊達市大滝区に電波が届くかというのをやっているんですが、残念ながらウィンザーホテルからの電波は、大滝区ではラジオを聴くには電波が弱い。今、大滝区の中に1本ギャップファイラーという、中継ではないんですけども、電波を発信するアンテナを建てて、大滝区をカバーしていきたいということを考えていました。

場所の選定なんですけど、どこに建てると最少経費で一番効果が得られるかということをやっているんですが、先日、中学校で試験電波を出したんですが、本町、優徳、上野、円山、昭園は、カバー出来たんですが、北湯沢がカバー出来なかった。現在、北湯沢には150世帯程で300名程度の人口がありますので、1地区だけ聞こえないというわけにはいかないということ、担当部所と話をしています。その後、名水亭さんから電波を出してみても、何処まで届くのか調査を行ってしまして、なんとか効率よく電波を出して大滝区をカバーしていきたい。

これは残念な話なんですけど、広島峠を越えた3地区、愛地、豊里、宮城については、直接向こう側に電波塔を建てない限りは、カバー出来ないとのこと。この3地区については、また別な方法を考えていきたいと思っています。例えば、直接メールで告知するとか、直接電話をするとか別の手段を講じていきたいなと考えています。

皆さんが常にFMラジオを入れているわけではないので、例えば、消防の吹鳴サイレンといったものを利用して何かがあったというこちらからの合図として行動を起こしていく。サイレンが鳴ったらFMラジオを入れたら、大滝区のローカル情報を出していければ、車に乗っていても聞こえますし、屋外で仕事をされている場合でもFMラジオがあれば聞くことができる。その方が効果的ではないかと考えております。

会 長：只今の説明について何かございますでしょうか。

委 員：なし。

支 所 長：本日諮問して、本日返事を下さいというのは大変失礼な話しかと思ひまして、12月中に大滝ケーブルテレビの利用者説明会を実施する予定であります。実際の利用者の方々にも、本日の話しをさせていただいて、そこで出たご意見、ご要望をもう一度、放送番組審議会に持ち帰りさせていただいて、委員の皆さんに区民のどういう意見があったのかご報告させていただいた上で、最終的に答申をいただきたいと考えております。

会 長：ご意見は大体出たかなと思ひますので、本日は、設備の変更について市の基本的な考え方が示されました。また、後日に区民の利用者説明会がありますので、それを踏まえまして、次回の会議を行いたいと思ひます。次回会議の日程について、事務局の予定はありますか。

事 務 局：現在は、年明けの1月31日（金）を予定しています。後日、ご案内し調整させていただきます。

委 員：もう一つよろしいでしょうか。差し支えない範囲でいいのですし、そんなに細かい詳細まではいらないですが、経費の内訳を次回までに示していただきたい。

事 務 局：わかりました。

委 員：利用料とかの変更は考えているんですか。

支 所 長：今の時点で申し上げますと、利用料金の値上げというところまでは考えておりません。今回の2つの貸与機器を外すということで、経費は下がると考えています。収支を見ていただければわかりますとおり、年間4千万円程の事業費をかけて行っています。今丁度、機器の老朽化に伴う更新ということで、今回更新せざるを得なかった機器を更新しない方向で検討させていただいた。料金については、今のところ現状を維持できればと考えています。先程、お話しがありましたとおり、経費の削減を出来ないかということを検討していきたいと考えております。

会 長：他にないようでしたら、これで会議を修了したいと思います。熱心なご審議をいただきありがとうございました。次回は、1月下旬を予定しておりますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。本日はご苦労様でした。